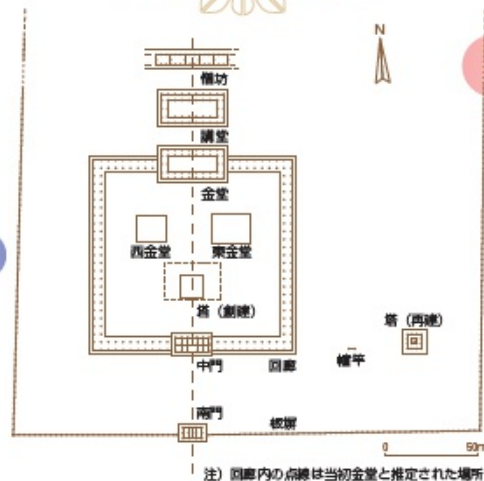


下野薬師寺略年表

- 7世紀末頃 下野薬師寺の創建
- 709年 式部卿大將軍正四位下 下毛野朝臣古麻呂卒す。(注1)
- 710年 平城遷都
- 730年頃 国の機関「造下野薬師寺司」設置される。
- 741年 国分寺建立の詔(注2)
- 749年 法隆寺・四天王寺などとともに下野薬師寺に墾田500町が認められる。
- 755年 東大寺に戒壇が置かれる。
- 761年 下野薬師寺と筑紫観世音寺に戒壇が置かれる。
- 770年 道鏡が造下野国薬師寺別当に任じられる。
- 772年 道鏡没する。(注3)
- 794年 平安遷都
- 800年代頃 創建の塔が焼失し、回廊東に塔を再建する。
- 967年 『延喜式』の施行。下野薬師寺が東国における受戒の場という規定が記される。
- 1092年 下野薬師寺の僧、慶順が東大寺に寺の復興を求める。
- 1254年 慈猛上人が下野薬師寺で審海に真言密教を伝える。このころ慈猛上人が下野薬師寺を復興する。
- 1339年 下野薬師寺の名を安国寺に改めたと伝わる。
- 1921年 下野薬師寺が国史跡に指定される。

注1) 平す(しゅつす) 貴族が亡くなること 注2) 詔(みことり) 天皇の命令
注3) 没する(ぼつする) 僧侶が亡くなること

下野薬師寺の伽藍



南門・中門・塔(創建)・金堂・講堂・僧坊が南北に並び、金堂の南正面の東西には金堂と考えられる大小の建物が存在します。回廊の東には、幢竿、中心部の塔が焼失したことによって、9世紀に再建された塔が存在します。

下野薬師寺歴史館 利用案内

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日・第3火曜日
休日の翌日(土・日・休日は開館)
年末年始(12/28~1/4)

入館料 無料



お問い合わせ



下野薬師寺歴史館

〒329-0431 栃木県下野市薬師寺1636
Tel.0285-47-3121 Fax.0285-47-3122
E-mail rekishikan@city.shimotsuke.lg.jp



下野市教育委員会文化財課

〒329-0492 栃木県下野市笹原26番地
Tel.0285-32-6105 Fax.0285-32-8610
E-mail bunkazai@city.shimotsuke.lg.jp



@rekishi_kan

下野市ホームページURL

<http://www.city.shimotsuke.lg.jp/>

下野市文化財バーチャルミュージアムURL

<http://www.shimotsuke-bunkazai.com>

2025.1.15(木)



下野市では、当市の歴史的特性を東の飛鳥と名付け、シティプロモーションに取り組んでいます。

国指定史跡 下野薬師寺跡

SHIMOTSUKE YAKUSHIJI

下野薬師寺とは

出土遺物から1300年前の7世紀末頃が創建と考えられます。また、『続日本後紀』の嘉祥元年(848年)条に「下野国申す、薬師寺は天武天皇の建立する所也。」との記載があり、これを裏付けています。730年頃には、国の出先機関である「造下野薬師寺司」が設置され、国家事業として造営が進められていきます。749年には墾田500町が認められ、法隆寺などの中央の諸大寺と同格に列せられました。その後761年には僧の受戒のための戒壇が置かれ、東大寺、筑紫観世音寺と並び三戒壇の一つに数えられました。1092年には伽藍が「破壊転倒甚だし」と記されるほど荒廃しますが、鎌倉時代に慈猛によって中興されます。室町時代に足利氏が各国ごとに安国寺を建立し、下野国は下野薬師寺が安国寺とされたといわれています。

発掘調査の成果

昭和41年に栃木県教育委員会による発掘調査が開始され、その後南河内町、下野市教育委員会により継続して調査が実施されてきました。これまでの調査により東西250m、南北350mに及び塀や、100m四方の回廊など、東国最大級の伽藍規模をもつ寺院であることが確認されました。回廊の内部からは創建当初の塔のほかに、規模の違う二つの堂が見つかり特徴的な伽藍配置であることがわかりました。創建の塔が9世紀頃焼失し、回廊の東外側に再建されるなど、寺の創建から廃絶までの間に幾度か伽藍配置を変える改修があったこともわかりました。

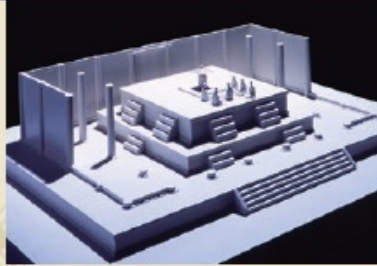


回廊南西部(南から)



下野薬師寺復元模型

1/150スケールの伽藍復元模型。模型は、平成6年度以前の発掘調査成果をもとに製作されています。従来は、回廊の中央に金堂があると考えられていましたが、近年の調査で金堂ではなく創建の塔であることがわかりました。



戒壇のイメージ模型

三師二証の受戒の様子を表した1/30スケールのイメージモデル。日本における古代の戒壇の構造は不明であるため、唐の僧・道宣によって編纂された「関中創立戒壇図経」の構造、寸法をもとに製作しました。

下野薬師寺歴史館



当館は、下野薬師寺跡の南西に隣接して建設された下野薬師寺のガイダンス施設です。館内では、発掘調査によって見つかった瓦をはじめとする出土遺物、寺に関わる文献、復元模型などの展示資料のほか、映像などによって寺の歴史をわかりやすく解説しています。

創建期の軒先瓦

大和国川原寺と同系の文様であることから寺の創建が7世紀末ごろであることがわかります。上が蓮華文縁瓦、下が重弧文字瓦です。



創建期の鬼瓦

蓮華をモチーフとした鬼瓦。寺のシンボルマークとして図案化し、このパンフレットにも使用しています。下半部は、東京国立博物館所蔵品のレプリカです。



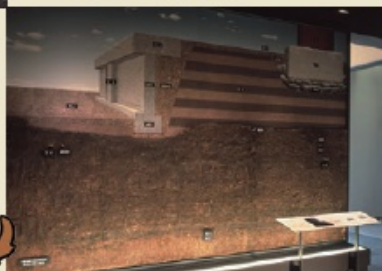
様々な瓦

寺で使われた軒先瓦を年代順に展示しており、瓦の文様の移り変わりを知ることができます。



基壇の造りかた

基壇の剥取り標本によって建物の基礎がどのように造られているかを知ることができます。



回廊の原寸大模型

回廊の原寸大の分解模型。屋根を支える組物の構造を見ることができます。



南西上空から見た歴史の広場

下野薬師寺跡を復元整備。現在は、南側の一部の整備が完了しています。

御鷲山古墳

史跡指定範囲

薬師寺八幡宮

再建の塔跡

下野薬師寺跡再建の塔付近

六角堂(西金堂跡)

東金堂跡

創建の塔跡

幢竿跡

復元回廊

史跡総合説明板

下野薬師寺歴史館屋上

下野薬師寺西金堂付近

歴史館

下野薬師寺跡入口付近

駐車場

復元回廊

回廊の北西角部分を復元。古代から伝わる工法によって建築が行われています。

六角堂(西金堂跡)

戒壇の伝承地に幕末頃に建立された六角形の堂。下層には西金堂跡があります。

★解説スポット

二次元バーコードを読み込むと動画を見られるよ！
当時の下野薬師寺にタイムスリップしてみよう！
※通信回線への接続が必要です。

下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場

モデルコース Model Course

★は解説スポット



- 歴史館
- ★ 下野薬師寺歴史館屋上
- 史跡総合説明板
- ★ 下野薬師寺跡入口付近
- ★ 下野薬師寺西金堂付近
- 復元回廊
- ★ 下野薬師寺復元回廊付近
- 六角堂(西金堂跡)
- 創建の塔跡
- 東金堂跡
- 幢竿跡
- 再建の塔跡
- ★ 下野薬師寺跡再建の塔付近